

■ 共同研究班の概要 Summary of the Joint Research Group

班	基盤研究班（C班）
Group Category	Type C Research Projects(Basic Research Projects)
設置期間	2022年4月～2027年3月（2025年3月終了から2年延長）
Period of Activity	April 2022 – March 2027（extended by 2 years from the original end date of March 2025）
研究課題名	東アジアの宗教美術と社会
Research Topic	Religious Art and Society in East Asia
研究目的の概要 （400字程度）	本研究では中国の仏教美術を中心に、東アジアにおける宗教美術と社会の関係性について実作例に即した考察を行う。 当研究所には水野清一・長廣敏雄らの中国石窟研究に代表される、仏教美術研究の膨大な蓄積がある。2017～2021年度に組織した『龍門北朝窟の造像と造像記』班ではこの伝統を継承しつつ、今日の国内外における研究水準にみあった基盤の整備に貢献することに重点をおいた。具体的には、所内で新たに確認された龍門石窟の拓本資料群を活用して、造像記の文面・内容を彫刻の造形と照合しつつ確認する作業を行い、北朝期の事例の過半について検討を終えた。 その結果改めて浮き彫りとなったのは、造像の様式・図像・制作過程などを理解する前提として、担い手となった個人・集団の属性や構造、すなわち身分の貴賤、出家在家の区別、性別、血縁関係、出身地などを把握することの重要性である。文字情報が豊富な中国の造像は、こうした観点から宗教美術のあり方を研究する際に、とりわけ有効なモデルを提供する。 本研究では引き続き、北朝隋唐期の龍門造像記を中心とする、中国仏教美術関連の文字史料の検討を一つの柱とする。一方で「社会との関係」を共通テーマとしつつ、対象を東アジアの宗教美術全般にも視野を広げて班員による研究発表を行い、多様な事例から議論を深化させる。両者の総合によって学界の共有財産となる基礎資料を蓄積するとともに、文物研究の場に広く応用可能な新たな視点の獲得と、厚みある成果の創出をめざす。
Summary of Objectives (Approx. 400 characters)	This study focuses mainly on Chinese Buddhist art, and considers the relationship between religious art and society in East Asia based on actual examples. Our institute had produced an impressive amount of scholarship on Buddhist art, the most exemplary of which being the works on Chinese grottoes by Mizuno Seiichi and Nagahiro Toshio. Continuing the tradition of these forerunners, the seminar group “Buddhist sculptures and their inscriptions in the Longmen Caves of the Northern Dynasties” was organized from 2017 to 2021 with the aim of contributing to the development of a research foundation that meets the international research standards of today. Specifically, by utilizing the newly confirmed rubbing materials of the Longmen Grottoes from the institute, members from the seminar group checked the content of the inscriptions, and evaluated them in light of their accompanying sculptures. Over half of the extant cases from the Northern Dynasties had been thoroughly discussed and checked in this manner. A few heretofore understudied factors came to light as a result of our study. Proceeding from a study of such art historical questions as style, iconography and the construction process of sculptures, it is further necessary to understand the role of societal factors such as the social level of the patron, their status as laymen or monks, gender, kinship and origin in the shaping of religious expressions. Chinese Buddhist sculptures provides rich textual information, and our study with such a societal perspective provides a particularly effective model for the study of religious art. This current study continues to focus on inscriptions from the Longmen Caves of the Northern Dynasties to the Tang period and the textual information for the study of Chinese Buddhist art. Meanwhile, with “relationship with the society” as a common theme, the group members will present their research to broaden members’ horizons on religious art in East Asia in general as well as to deepen discussions by introducing various examples. By integrating the two aspects, we aim to accumulate basic materials that will be a common property of academia, to acquire new perspectives that can be widely applied in the study of cultural relics, and to generate fruitful research results.
研究会開催予定等	年15回 火 14:00-17:00
Planned Meetings, etc.	15 Times / Year, Tuesday 14:00-17:00

■ 班員名簿 Member List

最終更新日：2025年6月6日
Last Update: June 6, 2025

No	班長・副班長	氏 名	区分	所属 ・ 職名	専門分野	共同研究における役割分担 （30字程度）
No	Coordinator / Deputy Coordinator(s)	Name	Category	Affiliation / Position	Field of specialization	Division of Roles within the Group (Approx. 30 characters)
1	班長	稲本 泰生	所内	・教授	東洋美術史	研究の統括
2		安岡 孝一	所内	・教授	人文情報学	人文情報学の観点からみた東アジア宗教美術
3		フォルテ・エリカ	所内	・教授	東洋考古学	東洋考古学の観点からみた東アジア宗教美術

№	班長・副班長	氏 名	区分	所属 ・ 職名	専門分野	共同研究における役割分担 (30字程度)
№	Coordinator / Deputy Coordinator(s)	Name	Category	Affiliation / Position	Field of specialization	Division of Roles within the Group (Approx. 30 characters)
4		古勝 隆一	所内	・教授	中国古典学	中国古典学の観点からみた東アジア宗教美術
5		倉本 尚徳	所内	・准教授	中国仏教史	中国仏教史の観点からみた東アジア宗教美術
6		呉 孟晋	所内	・准教授	中国絵画史	中国絵画史の観点からみた東アジア宗教美術
7		向井 佑介	所内	・准教授	中国考古学	中国考古学の観点からみた東アジア宗教美術
8		佐藤 智水	所内	・非常勤講師	中国仏教史	中国仏教史の観点からみた東アジア宗教美術
9		大平 理紗	所内	日本学術振興会・特別研究員（PD）	中国考古学	中国考古学の観点からみた東アジア宗教美術
10		打本 和音	所内	日本学術振興会・特別研究員（PD）	中央アジア仏教史	中国考古学の観点からみた東アジア宗教美術
11		間 志翔	所内	日本学術振興会（外国人特別研究員）・外国人共同研究者	仏教美術史	仏教美術史の観点からみた東アジア宗教美術
12		王 輝錯	所内	・研修員	博物館学	博物館学の観点からみた東アジア宗教美術
13		田中 健一	学内（法人内）	文学研究科・准教授	仏教美術史	仏教美術史の観点からみた東アジア宗教美術
14		大谷 弦	学内（法人内）	文学研究科・DC	日本絵画史	日本絵画史の観点からみた東アジア宗教美術
15		藤岡 穰	国立大学	大阪大学・教授	仏教美術史	仏教美術史の観点からみた東アジア宗教美術
16		齋藤 龍一	国立大学	東京藝術大学・准教授	東洋美術史	東洋美術史の観点からみた東アジア宗教美術
17		佐藤 有希子	国立大学	奈良女子大学・准教授	仏教美術史	仏教美術史の観点からみた東アジア宗教美術
18		上枝 いづみ	国立大学	金沢大学（日本学術振興会）・特別研究員（RPD）	中央アジア仏教史	中央アジア仏教史の観点からみた東アジア宗教美術
19		王 珏人	国立大学	大阪大学・DC	仏教美術史	仏教美術史の観点からみた東アジア宗教美術
20		内記 理	公立大学	愛知県立大学・准教授	中央アジア考古学	中央アジア考古学の観点からみた東アジア宗教美術
21		井上 豪	公立大学	秋田公立美術大学・教授	東洋美術史	東洋美術史の観点からみた東アジア宗教美術
22		伍 雅涵	公立大学	京都府立大学・DC	東洋美術史	中国考古学の観点からみた東アジア宗教美術
23		川瀬 由照	私立大学	早稲田大学・教授	仏教美術史	仏教美術史の観点からみた東アジア宗教美術
24		大西 磨希子	私立大学	佛教大学・教授	仏教美術史	仏教美術史の観点からみた東アジア宗教美術
25		濱田 瑞美	私立大学	横浜美術大学・教授	仏教美術史	仏教美術史の観点からみた東アジア宗教美術

№	班長・副班長	氏 名	区分	所属 ・ 職名	専門分野	共同研究における役割分担 (30字程度)
№	Coordinator / Deputy Coordinator(s)	Name	Category	Affiliation / Position	Field of specialization	Division of Roles within the Group (Approx. 30 characters)
26		篠原 典生	私立大学	中央大学・准教授	中国考古学	中国考古学の観点からみた東アジア宗教美術
27		高橋 早紀子	私立大学	京都産業大学・准教授	日本美術史	日本美術史の観点からみた東アジア宗教美術
28		高志 緑	私立大学	大阪大谷大学・講師	仏教美術史	仏教美術史の観点からみた東アジア宗教美術
29		苦名 悠	私立大学	佛教大学・講師	日本美術史	日本美術史の観点からみた東アジア宗教美術
30		森 美智代	私立大学	早稲田大学・講師（非）	中央アジア美術 史	中央アジア美術史の観点からみた東アジア宗教美術
31		檜山 智美	私立大学	東洋大学・助教	中央アジア美術 史	中央アジア美術史の観点からみた東アジア宗教美術
32		平 法子	私立大学	武庫川女子大学附属総合 ミュージアム・学芸員	東洋美術史	東洋美術史の観点からみた東アジア宗教美術
33		石松 日奈子	独立行政法人 等公的研究機 関	東京国立博物館・客員研究 員	仏教美術史	仏教美術史の観点からみた東アジア宗教美術
34		田林 啓	独立行政法人 等公的研究機 関	大阪市立美術館・学芸員	東洋美術史	東洋美術史の観点からみた東アジア宗教美術
35		瀧 朝子	民間機関	大和文華館・学芸部課長	東洋美術史	東洋美術史の観点からみた東アジア宗教美術
36		北村 一仁	外国機関	河南農業大学・副教授	中国史	中国史の観点からみた東アジア宗教美術
37		呉 虹	外国機関	復旦大学・講師	東洋美術史	東洋美術史の観点からみた東アジア宗教美術
38		黄 盼	外国機関	中国社会科学院考古研究 所・副研究員	中国考古学	中国考古学の観点からみた東アジア宗教美術
39		易 丹韵	外国機関	中国社会科学院考古研究 所・副研究員	中国美術史	中国美術史の観点からみた東アジア宗教美術
40		黄 蓉	外国機関	浙江大学・DC	中国美術史	中国美術史の観点からみた東アジア宗教美術
41		焦 樹峰	外国機関	陝西師範大学・DC	中国美術史	中国美術史の観点からみた東アジア宗教美術